

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	119 人	・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	27 人
・多発性硬化症	162 人	・ウェゲナー肉芽腫症	21 人
・重症筋無力症	161 人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	39 人
・全身性エリテマトーデス	1,030 人	・多系統萎縮症	51 人
・スモン	1 人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	23 人
・再生不良性貧血	36 人	・膿疱性乾癬	4 人
・サルコイドーシス	178 人	・広範脊柱管狭窄症	3 人
・筋萎縮性側索硬化症	23 人	・原発性胆汁性肝硬変	57 人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	391 人	・重症急性膵炎	2 人
・特発性血小板減少性紫斑病	110 人	・特発性大腿骨頭壊死症	45 人
・結節性動脈周囲炎	50 人	・混合性結合組織病	182 人
・潰瘍性大腸炎	282 人	・原発性免疫不全症候群	8 人
・大動脈炎症候群	45 人	・特発性間質性肺炎	13 人
・ビュルガー病	27 人	・網膜色素変性症	99 人
・天疱瘡	53 人	・プリオン病	0 人
・脊髄小脳変性症	57 人	・原発性肺高血圧症	7 人
・クローン病	76 人	・神経線維腫症	13 人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0 人	・亜急性硬化性全脳炎	0 人
・悪性関節リウマチ	85 人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1 人
・パーキンソン病関連疾患	912 人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	3 人
・アミロイドーシス	8 人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	2 人
・後縦靭帯骨化症	34 人	・副腎白質ジストロフィー	0 人
・ハンチントン病	0 人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

計 4,440 人

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1週間に3~4回程度 1ヶ月に13~15会程度開催		
剖検の状況	剖検症例数	76 例	剖検率 13.2 %

1 研究費補助等の実績

	研究科題名	氏名	所属講座等	20年度	補助機関
1	生体肝移植における過小グラフトの血行動態に関する臨床研究	川崎 誠治	肝胆膵外科学	2,500,000	補 文部科学省
2	オステオポンチンを分子標的とした悪性中皮腫の病態解明と治療への応用	高橋 和久	呼吸器内科学	1,300,000	補 文部科学省
3	肺サルコイドーシスの病態における性ホルモンの役割と治療への試み	石渡 俊次	呼吸器内科学	1,600,000	補 文部科学省
4	気導・骨導ハイブリッド補聴器の開発	小宮 尚	耳鼻咽喉科学	1,200,000	補 文部科学省
5	慢性疼痛(線維筋痛症)における脳機能画像診断と睡眠障害の認知行動療法に関する研究	臼井 千恵	精神医学	1,350,000	補 文部科学省
6	インドシアニングリーン-金ナノ粒子結合体を用いた血管内病変の診断・治療技術開発	守本 祐司	脳神経外科学	700,000	補 文部科学省
7	脳内神経ネットワーク見たモルヒネと吸入麻酔薬の作用機序に関する研究	赤澤 年正	麻酔科・ペインクリニック講座	1,100,000	補 文部科学省
8	遺伝子治療用ソフトコンタクトレンズの開発	藤巻 拓郎	眼科学	2,100,000	補 文部科学省
9	スポーツビジョン検査と精密眼球運動の関連の検討	工藤 大介	眼科学	600,000	補 文部科学省
10	骨格筋萎縮シグナルにおけるPKC δ の役割	田村 好史	寄付講座	1,300,000	補 文部科学省
11	加齢制御の分子機構解明	白澤 卓二	寄付講座(加齢制御医学)	8,000,000	補 文部科学省
12	SLEモデルマウスにおけるYaa遺伝子異常によるマージナルゾーンB細胞の分化異常	天野 浩文	膠原病内科学	1,700,000	補 文部科学省
13	複数データベースを統合活用した感染症の宿主要因及び環境要因の総合的疫学研究	丸井 英二	公衆衛生学	6,100,000	補 文部科学省
14	肺リンパ脈管筋腫症(LAM)におけるLAM細胞の増殖および病変形成機構の解明	瀬山 邦明	呼吸器内科学	4,000,000	補 文部科学省
15	卵巣癌におけるCdc25Aの役割について	寺尾 泰久	産婦人科学	1,100,000	補 文部科学省
16	Gjb2遺伝子優性阻害変異マウスの生後発育段階における外有毛細胞の細胞機能評価	成井 裕弥	耳鼻咽喉科	1,200,000	補 文部科学省
17	難聴遺伝子改変技術を利用したコルチ器の三次元構築の分子基盤の解明	池田 勝久	耳鼻咽喉科学	1,200,000	補 文部科学省
18	甲状腺腫瘍におけるNiban遺伝子発現の解析と臨床的意義の検討	松本 文彦	耳鼻咽喉科学	1,200,000	補 文部科学省
19	胃粘膜傷害における蛋白質レベルでのイニシャルイベントーポストゲノムの病態一	大高 道郎	消化器内科学	1,600,000	補 文部科学省
20	メタボリックシンドローム関連肝疾患の病態進展機序の解析および実験治療アプローチ	池嶋 健一	消化器内科学	1,200,000	補 文部科学省
21	小児期炎症性腸疾患の病態解析および栄養療法の検討	大塚 宜一	小児科学	700,000	補 文部科学省
22	未熟児におけるエリスロポイエチン製剤による酸化ストレス軽減作用についての検討	東海林 宏道	小児科学	1,800,000	補 文部科学省
23	パーキンソン病における蛋白分解系の関与	服部 信孝	神経学	3,100,000	補 文部科学省
24	家族性パーキンソン病の原因遺伝子産物の共通機構の解明と新規原因遺伝子の同定	服部 信孝	神経学	6,800,000	補 文部科学省
25	解糖酵素アルドラーゼとリン酸化タウとの相互作用の解析	志村 秀樹	神経学	1,400,000	補 文部科学省
26	慢性脳虚血におけるオリゴデンドロサイトの再生と機能回復の役割に関する研究	田中 亮太	神経学	1,400,000	補 文部科学省
27	IgA腎症における糖鎖不全IgA1産生に対する黄色ブドウ球菌膜蛋白抗原の関与	清水 芳男	腎臓内科学	1,100,000	補 文部科学省
28	糸球体上皮細胞におけるアクチン線維再構成の解析をとおした蛋白尿発症機序の解明	淺沼 克彦	腎臓内科学	1,350,000	補 文部科学省

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

1 研究費補助等の実績

	研究科題名	氏名	所属講座等	20年度	補助機関
29	IgA腎症の発症進展機序の解明	金丸 裕	腎臓内科学	1,350,000	補 文部科学省
30	軟骨細胞外基質パルカンの椎体・椎間板形成における分子機構の解明	石島 旨章	整形外科	1,300,000	補 文部科学省
31	休職中のうつ病患者に対する職場復帰援助プログラムのニーズと効果に関する研究	酒井 佳永	精神医学 越谷	400,000	補 文部科学省
32	高脂肪食負荷時における膵β細胞オートファジー機構の解析	綿田 裕孝	代謝内分泌学	2,700,000	補 文部科学省
33	膵β細胞におけるオートファジー機構の重要性と糖尿病発症への関与の検討	河盛 隆造	代謝内分泌学	1,700,000	補 文部科学省
34	新しいインスリン抵抗性発症因子としての“脂肪感受性”の規定因子の解明	河盛 隆造	代謝内分泌学	3,900,000	補 文部科学省
35	血糖変動による動脈硬化のメカニズム	東 浩介	代謝内分泌学	1,600,000	補 文部科学省
36	肝インスリン抵抗性における酸化ストレスの役割	内田 豊義	代謝内分泌学	1,200,000	補 文部科学省
37	マイクロサンプリングプローブによる肺上皮被覆液の解析－亜酸化窒素を中心として－	熊倉 誠一郎	麻酔科・ペイン 練馬	900,000	補 文部科学省
38	膵β細胞機能を制御する転写因子PDX1の上流シグナルのIn Vivoにおける解析	藤谷 与士夫	寄付講座(先進糖尿病)	1,700,000	補 文部科学省
39	胸腺腫・胸腺癌におけるCD44v6発現とその腫瘍マーカーとしての有用性の検討	園部 聡	呼吸器外科学	1,600,000	補 文部科学省
40	胸膜中皮腫の腫瘍マーカーの検討	塩見 和	呼吸器外科学	1,600,000	補 文部科学省
41	遺伝子改変マウスを用いた遺伝子難聴の治療開発の挑戦	池田 勝久	耳鼻咽喉科学	5,500,000	補 文部科学省
42	細菌性中耳炎における中耳粘膜肥厚の分子制御の解明とその治療	古川 正幸	耳鼻咽喉科学	1,800,000	補 文部科学省
43	出生直後の遺伝子導入による難聴モデルマウスの聴力の獲得	田崎 京子	耳鼻咽喉科学	1,900,000	補 文部科学省
44	IgA腎症の扁桃T細胞における副刺激分子の発症に関わる分子メカニズムの解析	杉田 玄	耳鼻咽喉科学	1,900,000	補 文部科学省
45	レーザーキャプチャー顕微鏡法による好酸球性副鼻腔炎のエオタキシン発現の解析	八尾 亨	耳鼻咽喉科学	1,900,000	補 文部科学省
46	Brn4による間葉系幹細胞からの蝸牛線維細胞への分化誘導と難聴の再生医学への応用	中澤 詠子	耳鼻咽喉科学 浦安	1,200,000	補 文部科学省
47	GJB2遺伝子保因者における歪成分耳音響放射障害の分子メカニズム	中澤 麻美	耳鼻咽喉科学 浦安	1,200,000	補 文部科学省
48	水中運動による抗動脈硬化作用機序の解明－3D管状ヒト血管モデルによる基礎的解析－	島田 和典	循環器内科学	1,500,000	補 文部科学省
49	新規血管炎症性マーカーPTX3の意義	井上 健司	循環器内科学	900,000	補 文部科学省
50	胎児胎盤系に着目した早産児脳障害の病態解明	奥村 彰久	小児科学	1,400,000	補 文部科学省
51	未熟児・新生児における腸管粘膜バリアー機能の検討	清水 俊明	小児科学	2,100,000	補 文部科学省
52	小児炎症性腸疾患における免疫学的検討と免疫調節薬の効果	藤井 徹	小児科学	1,400,000	補 文部科学省
53	ヒト食道癌における所属リンパ節での癌関連遺伝子メチル化の解析	那須 元美	消化器外科(上部)	500,000	補 文部科学省
54	肝病態におけるオートファジーの役割の解明	山科 俊平	消化器内科学	1,900,000	補 文部科学省
55	脂肪性肝炎の発症プロセスと小胞体－ミトコンドリアストレス連関	今 一義	消化器内科学	1,900,000	補 文部科学省
56	パーキンソン病における神経細胞死の機序解明とその防御	服部 信孝	神経学	19,400,000	補 文部科学省

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

1 研究費補助等の実績

	研究科題名	氏名	所属講座等	20年度	補助機関
57	Lipid Raftsにおける家族性パーキンソン病原因たんぱくの機能解析	久保紳一郎	神経学	2,300,000	補 文部科学省
58	LRRK2の機能解析	波田野 琢	神経学	1,600,000	補 文部科学省
59	IgA腎症の発症と進展における樹状細胞の役割	鈴木 祐介	腎臓内科学	1,800,000	補 文部科学省
60	精神科領域における科学的な医療安全に関する研究	八田 耕太郎	精神医学	500,000	補 文部科学省
61	レビー小体型認知症の臨床・病理診断基準の妥当性の検討	井 関 栄 三	精神医学	900,000	補 文部科学省
62	サイクロフィリンによるSARSコロナウィルス複製制御メカニズムの解析	山本 典生	総合診療研究室	1,500,000	補 文部科学省
63	2型糖尿病のコントロールと心理的、社会的要因との関連	弘世 貴久	代謝内分泌学	1,100,000	補 文部科学省
64	骨髄移植による膵β細胞容積増加のメカニズム	綿田 裕孝	代謝内分泌学	1,400,000	補 文部科学省
65	てんかんによって惹起される海馬神経細胞新生は、てんかん原生となるか	中島 円	脳神経外科学	1,300,000	補 文部科学省
66	プロテオーム解析による関節リウマチの疼痛関連物質探索と痛み診断への応用	竹内 和世	麻酔科・ペインクリニック講座	1,300,000	補 文部科学省
67	カルシウム維持機構に着目したSchwartz-Jampel症候群の病態研究	平澤 恵理	老研センター	2,000,000	補 文部科学省
68					合計67件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
1	Jpn J Infect Dis	Cyclospora infection in an immunocompetent patient in Japan.	Naito T (内藤俊夫)	総合診療科
2	General Med	Deep venous thrombosis caused by a femoral venous catheter.	Naito T (内藤俊夫)	総合診療科
3	J Immunol	Follicular dendritic cells activate HIV-1 replication in monocytes/macrophages through a juxtacrine mechanism mediated by P-selectin glycoprotein ligand 1.	Naito T (内藤俊夫)	総合診療科
4	J Am Coll Cardiol	Effect of intensive statin therapy on regression of coronary atherosclerosis in patients with acute coronary syndrome: A multicenter randomized trial evaluated by volumetric intravascular ultrasound using pitavastatin versus atorvastatin (JAPAN-ACS [Japan assessment of pitavastatin and atorvastatin in acute coronary syndrome] study)	Hiro T (代田 浩之)	循環器内科
5	Circ J	Rationale and design of the carotid plaque in human for all evaluations with aggressive rosuvastatin therapy (CHALLENGER trial): Evaluation by magnetic resonance imaging.	Miyauchi K (代田 浩之)	循環器内科
6	Echocardiography	Local dysfunction and asymmetrical deformation of mitral annular geometry in ischemic mitral regurgitation: A novel computerized 3D echocardiographic analysis.	Daimon M (代田 浩之)	循環器内科
7	J Gastroenterol	Liver diseases and metabolic syndrome.	Watanabe S	消化器内科
8	Journal of Gastroenterology and Hepatology	Correlations among total colonoscopic findings, clinical symptoms, and laboratory markers in ulcerative colitis.	Osada T	消化器内科
9	Journal of Gastroenterology and Hepatology	Evaluation of EORTC QOQ-C30 questionnaire in patients undergoing in-hospital chemotherapy for gastrointestinal	Kato J	消化器内科
10	Gastrointest Endosc	Pancreatic-duct-lavage cytology in candidates for surgical resection of branch-duct intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas: should the International Consensus Guidelines be revised ?	崔 仁煥	消化器内科 画像診断研究室
11	World J Gastroenterol	Diagnosis of mild chronic pancreatitis (Cambridge classification): Comparative study using secretin injection-magnetic resonance cholangiopancreatography and endoscopic retrograde pancreatography	崔 仁煥	消化器内科 画像診断研究室
12	Respiration 75: 328-338, 2008	Downregulation of angiotensin II and Tie2 in chronic hypoxic pulmonary hypertension.	Yamamoto A, et al.	呼吸器内科
13	Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol 294: L196-204, 2008	Phosphodiesterase 4 inhibitor GPD-1116 markedly attenuates the development of cigarette smoke-induced emphysema in senescence-accelerated mice P1 strain.	Mori H, et al.	呼吸器内科
14	Int Med 47: 281-285, 2008	Peritoneovenous shunting for intractable chylous ascites complicated with lymphangiomyomatosis.	Makino Y, et al.	呼吸器内科
15	Surg Today 38: 245-248, 2008	Successful Resection of Dermatomyositis Associated with Thymic Carcinoma: Report of a Case.	Takahashi F, et al.	呼吸器内科

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを入力すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を入力すること。

2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
16	Am J Respir Crit Care Med. 178(3): 248-60, 2008	Lung fibroblast repair functions in patients with chronic obstructive pulmonary disease are altered by multiple mechanisms.	Togo S, et al.	呼吸器内科
17	Respir Res: 23(9):66, 2008	NF-kappaB mediates the survival of human bronchial epithelial cells exposed to cigarette smoke extract.	Liu X, et al.	呼吸器内科
18	Am J Respir Cell Mol Biol 38:153-160, 2008	Secretion of IL-13 by Airway Epithelial Cells Enhances Epithelial Repair via HB-EGF.	Harada N, et al.	呼吸器内科
19	Anticancer Research 28: 1633-1640, 2008	Vinorelbine is effective for the malignant pleural effusion associated with lung cancer in mice.	Cui R, et al.	呼吸器内科
20	Int Med 47: 1027-1031, 2008	Pulmonary Paragonimiasis with coincidental malignant mesothelioma.	Yamazaki M, et al.	呼吸器内科
21	Oncogene 27(40): 5339-5347, 2008	Interaction of folliculin(Birt-Hogg-Dubé gene product)with a novel Fnip1-like(FnipL/Fnip2)protein.	Takagi Y, et al.	呼吸器内科
22	Clin Cancer Res 14(5):1431-1437, 2008	Sensitive and specific new enzyme-linked immunosorbent assay for N-ERC/Mesothelin Increases its potential as a useful serum tumor marker for mesothelioma.	Shiomi K, et al.	呼吸器内科
23	Respirology 13: 913-915, 2008	Isolated congenital spleen agenesis: a rare cause of chronic thromboembolic pulmonary hypertension in an adult.	Takahashi F, et al.	呼吸器内科
24	Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol 295: L71-L78, 2008	Involvement of RhoA/Rho kinase signaling in protection against monocrotaline-induced pulmonary hypertension in pneumonectomized rats by dehydroepiandrosterone .	Homma N, et al.	呼吸器内科
25	J Immunol. 181: 4062-71, 2008	B7-H3 contributes to the development of pathogenic Th2 cells in a murine model of asthma.	Nagashima O, et al.	呼吸器内科
26	Anticancer Research 28:3933-3936, 2008	ERC/Mesothelin as a marker for chemotherapeutic response in patients with mesothelioma.	Tajima K, et al.	呼吸器内科
27	Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol 296: L30-L36, 2009	Role of multidrug resistance-associated protein 1 in the pathogenesis of allergic airway inflammation.	Yoshioka M, et al.	呼吸器内科
28	Lung Cancer 63:368-374, 2009	Osteopontin is involved in the formation of malignant pleural effusion in lung cancer.	Cui R, et al.	呼吸器内科
29	Jpn. J. Clin. Oncol. 39: 158-162, 2009	Evaluation of the safety and compliance of 3-week cycles of vinorelbine on days 1 and 8 and cisplatin on day 1 as adjuvant chemotherapy in Japanese patients with completely resected pathological stage IB to IIIA non-small cell lung cancer: A retrospective study.	Shukuya T, et al.	呼吸器内科
30	日呼吸会誌 46(6):425-427, 2008	厚生労働省難治性疾患克服研究事業呼吸不全に関する調査研究班 リンパ管筋腫症lymphangiomyomatosis (LAM)診断基準.	林田美江, 他	呼吸器内科

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
31	日呼吸会誌 46(6):428-43, 2008	厚生労働省難治性疾患克服研究事業呼吸不全に関する調査研究班リンパ脈管筋腫症lymphangiomyomatosis(LAM)の治療と管理の手引き.	林田美江, 他	呼吸器内科
32	日呼吸会誌 46:781-787, 2008	慢性呼吸器疾患の急性増悪に対するメシル酸バズプロキサシンの臨床効果の検討.	児玉裕三, 他	呼吸器内科
33	日呼吸会雑誌 46:803-807, 2008	表在性膀胱癌に対するBCG膀胱内注入療法により発症した間質性肺炎の1例.	山本章人, 他	呼吸器内科
34	癌と化学療法35:2367-2371, 2008	平間未知大, 八戸敏史, 宮地敦子, 石渡俊次, 三浦佳代, 瀬山邦明, 高橋和久. 当科におけるGefitinib使用症例に関する検討 特に喫煙歴と効果に関して.	宿谷威仁, 他	呼吸器内科
35	Journal of Nephrology	Antiproteinuric effect of olmesartan in patients with IgA nephropathy.	Yasuhiko Tomino	腎・高血圧内
36	Metabolism	Effects of pyridoxamine (K-163) on glucose intolerance and obesity in high-fat diet C57BL/6J mice.	Shinji Hagiwara	腎・高血圧内
37	Nephrology Dialysis Transplantation	Contribution of subcutaneous fat accumulation to insulin resistance and atherosclerosis in haemodialysis patients.	Huromichi Gotoh	腎・高血圧内
38	Lupus	Hypocomplementemic urticarial vasculitis with Jaccoud's arthropathy and valvular heart disease: case report and review of the literature.	Amano H	膠原病・リウマチ内科
39	Acupunct Med	Polyarticular septic arthritis with bilateral psoas abscesses following acupuncture.	Ogasawara M	膠原病・リウマチ内科
40	Autoimmunity	Chemoattractant mechanism of Th1 cells in class III and IV lupus nephritis.	Morimoto S	膠原病・リウマチ内科
41	Metabolism	Migliitol suppresses the postprandial increase in interleukin 6 and enhances active glucagon-like peptide 1 secretion in viscera	Arakawa M	糖尿病・内分泌内科
42	Diabetes Res Clin Pract	Efficacy and safety of modified Yale insulin infusion protocol in Japanese diabetic patients after open-heart surgery.	Tamaki M	糖尿病・内分泌内科
43	Cell Metab	Autophagy is important in islet homeostasis and compensatory increase of Beta cell mass in response to high-fat diet.	Ebato C	糖尿病・内分泌内科
44	Psychiatry Clin Neurosci.	Possible effect of beta-blocker on the prevention of ventricular tachycardia during electroconvulsive therapy.	Usui C	メンタルクリニック
45	Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry	Changes in plasma glycine, L-serine, and D-serine levels in patients with schizophrenia as their clinical symptoms improve: results from the Juntendo University Schizophrenia Projects (JUSP).	Ohnuma T	メンタルクリニック

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なもの記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。